

第1 事業の概要

我が国では、洪水や土砂災害を引き起こす大雨や短時間強雨の頻度が増加しており、地震活動も活発化している状況にある。令和6年元日に発生した能登半島地震では、家屋の倒壊や津波による被害のみならず、長期にわたるライフラインの途絶等、地域住民の生活に甚大な影響をなおも及ぼしているほか、同年2月には、千葉県内においても東方沖で地下のプレートの境界がゆっくりとずれ動く「スロースリップ現象」による地震が相次いでいる。これらのことから、災害に対する備えの重要性が改めて認知され、市民の災害に対する不安や関心はますます高まっているものと考えられることから、一人でも多くの市民が身を守ることができるよう、防災意識の高揚をはかり、災害対策の基本である「自助」、「共助」の重要性を広く浸透させる活動を積極的に行っているところである。

公益目的事業における「防災意識の普及及び広報に関する事業」や「応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業」については、前年度に引き続き千葉市や関係機関と連携し、開催場所の拡充を行ったほか、「防火管理体制等の教育指導講習等の事業」の防災管理に関する一部講習では、オンライン講習を試行的に実施する等、利便性や効率性の向上に努めた。また、令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、日常生活の平常化に向けた兆しが見えてきたことを踏まえ、公社においてもコロナ禍以前の事業活動に戻すべく各事業の活性化に取り組んだ。

収益事業の「防災物品等の普及促進に関する事業」においては、各種住宅用消火器や非常食をはじめとする各種防災物品及び応急処置用品等の販売に取り組んだほか、老朽化した消火器の回収を行った。

第2 事業の内容

1 防火防災思想及び応急手当の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

(1) 防災意識の普及及び広報に関する事業

ア 防火防災訓練等体験指導

市民の防災意識を高め、災害に対する知識及び技術の普及を行い被害の軽減を図るため、防災訓練を実施する自治会や自主防災組織及び消防訓練を実施する事業所等からの要請により防災普及車等で出向し、訓練等体験指導を実施した。

防災普及車を運用し、過去の発生地震や発生が予測される地震のほか、地震の揺れや音にVR(Virtual Reality)映像を加え、より現実感のある体験を行うとともに、煙体験ハウスや訓練用水消火器等の資機材を併せて活用し、市民のニーズに合わせた実効性のある訓練に繋げてもらえるよう事業を展開した。

項目	出向件数	参加者数
訓練等体験指導	293 件	25,663 人

※キャンセル件数 12 件

中止件数 29 件

種別	実施回数	体験者数
消火器取扱要領	100 回	2,672 人
天ぷら油発火実験	40 回	1,675 人
応急手当要領	40 回	825 人
防災講話	57 回	2,286 人
地震体験	237 回	11,638 人
煙体験	112 回	6,539 人
119 番通報体験	27 回	549 人

イ 防災啓発 DVD の貸出

自主防災組織の防災訓練や事業所における防災教育等で有効的に活用してもらえよう
防災啓発 DVD の貸出を行った。

また、新たに火災対策関係の DVD を 3 本追加し、ラインナップの充実を図った。

項目	貸出件数	貸出本数
防災啓発 DVD の貸出	98 件	205 本

ウ 啓蒙物品の配布

防災訓練出向時等において防災啓蒙物品を適宜配布し防災意識の高揚を図った。

項目	配布数
防災・減災マニュアル	3,000 冊
非常用給水バッグ	1,000 個

エ 防災イベントの実施

小学生とその保護者を対象とし、防災クイズを織り交ぜながら体験する「おやこで学ぶ防
災体験」を実施したほか、種々の体験等を通じて地域における自助、共助の重要性を啓発す
る「地域で守る！防災体験」について、開催場所を拡充して実施した。

また、各区の公共施設や商業施設等において、事前申し込み不要で自由に参加ができる
「気軽に防災体験」を実施した。

(7) おやこで学ぶ防災体験

実施場所	回数	参加者数	参加組数	実施内容
千葉市消防局 救助救急センター	2回	50人	19組	地震体験、消火器取扱要領、天ぷら油 発火実験、応急手当要領、煙体験、防 災物品展示及び防災クイズ

(イ) 地域で守る！防災体験

実施場所	回数	参加者数	実施内容
こてはし台公民館	1回	18人	地震体験、消火器取扱要領、天ぷら油 発火実験、煙体験、防災講話、傷病者 搬送要領、ロープ結索
草野公民館	1回	19人	
おゆみ野公民館	1回	15人	
幕張西公民館	1回	21人	

(ウ) 気軽に防災体験

実施場所	回数	参加者数	実施内容
千葉市科学館きぼーる	1回	82人	地震体験
千葉市南部青少年センター	1回	55人	地震体験
そごう千葉店本館	1回	36人	地震体験、消火器取扱要領
蘇我コミュニティセンター	1回	36人	地震体験、消火器取扱要領
花島コミュニティセンター	1回	44人	地震体験、消火器取扱要領、煙体験
穴川コミュニティセンター	1回	36人	地震体験、煙体験、119番通報体験
長沼コミュニティセンター	1回	167人	地震体験、煙体験
フレスポ稲毛	1回	102人	地震体験
桜木・加曽利地区商工振興会 (石田重機株式会社駐車場)	1回	127人	地震体験
鎌取コミュニティセンター	1回	70人	地震体験、煙体験、119番通報体験
千葉市地方卸売市場	1回	57人	地震体験
真砂コミュニティセンター	2回	74人	地震体験、煙体験、消火器取扱要領
千葉市消防局救助救急センター	8回	183人	地震体験、消火器取扱要領

(2) 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

ア イベント等への支援協力

行政機関からの要請に応じ、その実施するイベントに支援協力した。

種別	協力回数	支援内容
千葉市消防出初式	1回	地震体験、啓蒙物品配布
九都県市合同防災訓練	1回	地震体験、啓蒙物品配布
千葉市消防局市民見学会	1回	地震体験、煙体験、啓蒙物品配布
消防署消防フェア、救急フェア	4回	地震体験、天ぷら油発火実験、啓蒙物品配布
千葉市内各区区民まつり等	5回	地震体験、啓蒙物品配布
花見川団地マルシェ	2回	地震体験、応急手当要領、消火器取扱要領、啓蒙物品配布
合 計	14回	

イ 市民への表彰に伴う記念品の授与

市民が対応した初期消火活動や救命活動等の案件に対し、消防の表彰に合わせて公社から記念品の供与を行った。

種別	件数	個数
個人表彰	10件	39個
団体表彰	1件	1個

ウ 備蓄食糧・資機材の整備

災害発生時等において、近隣住民及び行政機関等から一時避難や支援の要請があった場合等に対応を図ることができるよう保存食及び保存水の賞味期限を踏まえ更新した。

種別	品目数	補充数量
保存食	3品目	1,040食
保存水	1品目	312本

(3) 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

ア 防火管理体制の教育指導講習

消防法に基づく自衛消防組織の統括管理者等を対象とした自衛消防業務講習、防火対象物における防火管理上必要な事項について定期点検及び結果報告をするために必要となる防火対象物点検資格者講習を実施した。

講習名	実施回数	受講者数
自衛消防業務新規講習	14回	412人
自衛消防業務再講習	10回	254人
防火対象物点検資格者講習	1回	31人
防火対象物点検資格者再講習	1回	69人

イ 防火管理講習等

消防法で定められた防火対象物において防火管理業務を実施するのに必要な資格を取得するための防火管理講習や、防災管理上業務を実施するのに必要な資格を取得するための防災管理講習、千葉市火災予防条例に基づく防火管理者等実務講習及び自衛消防技術講習を実施した。

なお、同時開催している甲種防火管理再講習並びに防火管理者等の実務講習において、オンライン型 Web 会議方式を用いた講習を試行的に行った。

講習名	実施回数	受講者数
甲種防火管理新規講習 (同時開催)	13 回	1,202 人
乙種防火管理講習		115 人
甲種防火管理再講習 (同時開催)	7 回	622 人
防火管理者等実務講習		98 人
甲種防火管理再講習 オンライン	2 回	22 人
防火管理者等実務講習 (同時開催)		0 人
防災管理新規講習	2 回	77 人
防火・防災管理新規講習	4 回	369 人
防火・防災管理再講習	2 回	160 人
自衛消防技術講習	2 回	26 人

ウ 防災実務研修

災害時における事業所の被害を最小限に止めることができるよう、市内の事業所に勤める従業員等を対象に、防火管理の概要や消防訓練の必要性についての講義のほか、実際の消防設備を活用しながら、消火や通報、避難等の要領について習得できる防災実務研修を実施した。

研修名	実施回数	受講者数
防災実務研修	6 回	122 人

エ 防火管理講習等用教材の頒布

防火管理講習等の受講者に対し、受講に必要なテキストを有償で頒布した。

頒布物	種類数	頒布冊数
防火管理講習等用テキスト	5 種	4,775 冊

(4) 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

ア 救命講習

JRC 蘇生ガイドラインに基づき、心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法等の救命処置を習得する救命講習を開催した。市民を公募して実施した講習は、消防施設以外にもコミュニティセンターや公民館等、公共施設とも連携し、市内各所に会場を設けて行ったほか、市内に所在する事業所等からの要請に応じ、現地に出向して指導を行った。

講習名		区分	実施回数	受講者数
普通救命講習	普通救命講習Ⅰ	出向	262 回	3,485 人
		公募	79 回	1,020 人
	普通救命講習Ⅲ	出向	37 回	432 人
		公募	12 回	178 人
	応急手当 WEB 講習	出向	41 回	565 人
		公募	6 回	75 人
上級救命講習			20 回	463 人
上級救命再講習			22 回	256 人
初級救命講習参加証の交付（その他救命講習）			46 回	488 人

※キャンセル件数（出向） 15 件

イ 応急手当の普及

三角巾を使用した外傷手当を中心に 2 時間で学べるけがの手当教室と、小さな子どもがいる保護者や関わる機会の多い方を対象として、乳児に対する心肺蘇生法と異物除去法を 45 分で学べるパパ&ママ救命教室を実施した。

このうちパパ&ママ救命教室では、コミュニティセンターを含め千葉市内全 6 区に会場を設け、より気軽に参加できるよう利便性の向上をはかった。

講座名	実施回数	参加者数
けがの手当教室	3 回	39 人
パパ&ママ救命教室	14 回	131 人

ウ 救命講習等用教材の頒布

上級救命講習及びけがの手当教室の受講者で希望する者に対し、受講に必要な三角巾等の教材を有償で頒布した。

頒布物	種類数	頒布個数
救命講習用教材	2 品目	1,396 個

2 防災物品等の普及促進に関する事業

災害への備えとして重要となる防災用品の必要性を広く普及啓発するため、住宅用消火器、非常食等の家庭向け各種防災物品や、自治会、自主防災組織向けの防災資機材を販売した。過去の住宅用消火器の購入者に対して使用期限到来案内をしりピーターの確保に努めたほか、市民が手軽に非常食を入手できるよう、単品販売やセット販売を公社窓口や訓練出向時等において行った。また、公社ウェブサイトにおけるショッピングカートシステムを活用した販売を実施した。

このほか、消火器リサイクルシステムの特設窓口として老朽化消火器の回収を行った。

項目	販売・回収数
住宅用消火器の販売	197 本
住宅用火災警報器の販売	1 個
老朽化消火器の回収	233 本
応急手当処置用品の販売	440 個
防災物品等の販売	647 個

3 運営管理

(1) 評議員会及び理事会の開催

ア 評議員会の開催

開催日	開催状況	議事事項
令和 5 年 6 月 27 日	令和 5 年度 定時評議員会	議案第 1 号 議事録署名人の選出について 議案第 2 号 令和 4 年度事業報告及び決算について 議案第 3 号 公益財団法人千葉県防災普及公社役員の報酬等及び旅費並びに評議員の報酬に関する規程の一部改正について 議案第 4 号 監事の報酬額について 議案第 5 号 評議員の選任について 議案第 6 号 理事の選任について 議案第 7 号 監事の選任について
令和 6 年 3 月 25 日	令和 5 年度 第 1 回臨時評議員会 (決議の省略による方法)	議案第 1 号 役員の報酬等及び旅費並びに評議員の報酬に関する規程の一部改正について

イ 理事会の開催

開催日	開催状況	議事事項
令和 5 年 5 月 26 日	令和 5 年度 第 1 回通常理事会	議案第 1 号 令和 4 年度事業報告及び決算について 議案第 2 号 公益財団法人千葉県防災普及公社職員倫理規程の一部改正について 議案第 3 号 令和 5 年度定時評議員会の招集について

開催日	開催状況	議事事項
令和6年 3月26日	令和5年度 第2回通常理事会	<p>議案第1号 令和6年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について</p> <p>議案第2号 公益財団法人千葉県防災普及公社有期雇用職員就業規程の一部改正について</p> <p>議案第3号 公益財団法人千葉県防災普及公社就業規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 公益財団法人千葉県防災普及公社情報公開規程の一部改正について</p> <p>議案第5号 令和5年度第1回臨時評議員会の開催について</p>

(2) 監事による監査の実施

ア 期中監査

令和5年10月24日

令和6年1月16日

令和6年3月21日

イ 期末監査

令和6年5月22日